

## 農林漁業現地事例情報「食料自給率向上に資する取組事例」

行動計画の項目に基づいた分類：エ 国産農産物の消費拡大の取組

取組名：地場産農産物・牛乳を使用した加工食品による地域の活性化  
取組主体：(株) 新サカイヤフーズ (北海道・八雲町)

### 1 取組の背景

北海道八雲町の食料品製造業(株)新サカイヤフーズ(酒井 敏行代表取締役)は、昭和年63年の創業当初から地場産農産物や牛乳を使用した、加工食品の製造を行っている。

同町近隣には、ばれいしょでんぷん工場がなく、運送費をかけ遠隔地の工場まで搬送していたが、地場産ばれいしょを使用したコロッケ等の製造に取り組むことで、生産者の収入増につながればと考え取組を始めた。

現在では、地場産ばれいしょを使用したコロッケやベークドポテト、地場産の牛乳を使用したグラタン、ドリアなど商品は多岐に渡っており、地域の農家などの関係者と連携し、さらなる商品の開発や地域の活性化に取り組んでいる。

### 2 取組の具体的内容

現在の主力製品はコロッケ、ベークドポテト、グラタンであるが、コロッケとベークドポテトの主原料であるばれいしょは、同町をはじめとする近隣町村より集荷しており、平均ライマン価が17%以上と高いことから、大変ホクホクとした食味となっている。

グラタンには八雲町産の牛乳が使用されており、北海道酪農発祥の地といわれる八雲町の牛乳の風味を楽しむことができ、地場産ばれいしょを使用したポテトグラタンなど農産物と牛乳が結びついた商品も製造されている。

また、地域の農家等の関係者と連携し、更なる商品の開発を進めることで、地域の活性化にもつながっている。

### 3 取組の具体的効果

地場産農産物を主原料として使用し、食味を追求した製品開発が好評となり、現在ではコロッケが年間約2,500 t、ベークドポテト、約500 tを製造している。

農家にとっては、規格外ばれいしょをでんぷん工場よりも高く買い入れてもらうことで収入の増加や、安定した販売先の確保につながっている。

全国展開の飲食店をはじめとする外食産業、スーパー、デパート、パン製造業、弁当販売業等、販売先は多岐に渡っている。

また、学校給食として、同町をはじめ、都市部である札幌市、東京都などの関東方面にも出荷され、食育という観点からも貢献している。

#### 4 今後の展開方向

数年前に設備投資を行い製造能力が増加したことから、新たな販売先を開拓したい。  
また、顧客のニーズに応じた、製品の開発などに努めていきたい。

#### 5 取組に係る問題点と解決策

資金繰りは企業における共通した重要な問題の一つと考えているが、近年の銀行の審査厳格化により、資金調達が以前よりも難しくなったと感じる面があった。現在のところはうまく対応出来ているが、今後の経済・金融動向を注視している。



地場産ばれいしょを主原料としたコロッケ。色々な種類のコロッケがある。  
上は、北海道の形をしたユニークなコロッケ。



八雲町産牛乳を使用したグラタン。  
ほかにも、八雲町産牛乳と北海道産米を使用したドリアや、地場産かぼちゃを使用したスープなどがある。

【情報収集官署】北海道農政事務所 八雲統計・情報センター

連絡先：0137-63-3383